

うきは市 地域住民説明会 御幸地区

日時：9月22日（月） 19時～20時

場所：うきは市立図書館3階小ホール

参加者：26人

事務局：うきは市教育委員会（樋口教育長、江藤課長、坂本指導主事、熊懐係長、井上係員）

福山C（山本、濱松）

■質疑応答

- ・ 資料P27の①「発達に即して9年間を区分」、②「9年間の一貫したカリキュラムに基づく教育」、③「児童生徒の異学年交流合同・個別の学校行事」について、現状の小中が分離している状況で3つの目標が達成できるのか。
→①については不可能ではないが、1つの場所にまとまった方がやりやすい。
②についても分離していても不可能ではないが、1つの場所にまとまった方がやりやすい。
③については、ICTにおいてある程度は可能であるが、1つの場所にまとまった方がやりやすい。

- ・ 自分たちの時代とは人口構成が異なるので、再編はいたしかたないと思う。
香春町の先進事例について、施設一体化したことでのメリットとデメリット、想定内のこと、あるいは想定外のことがあれば教えてほしい。
→メリットとして、小中学生の交流があることでの中1ギャップや、中学進学時の荒れの減少が挙げられる。また、香春思永館の場合は町の施設が集約化されて便利になって相乗効果もみられる。
デメリットとして、施設面では、施設一体型になったことで想定よりも体育館や駐車場の規模が小さかったことがあると聞いた。教育面では、各教員は小中2種の教員免許を持つ必要があることや、校長が一人になることで手が回らなくなる可能性の懸念があるが、教頭と業務を分担する等で解決を見込める。

- ・ ①義務教育学校になると両方の免許が必要になり負担が増えると考えられるが、教職員説明会時的小中学校の教員からどのような意見があったか。
②案1～4の中で、どうして案2では難しいのか教えてほしい。
③保護者にアンケートでは、なぜすべての案を提示しなかったのか。また、設問内容がぼんやりと思っていたのはなぜか。
→①当分の間は、国の措置で、小中両方の教員免許を持たなくてもよいとなっており、道徳や英語等の教育を行うことを想定している。また、教職員説明会時の教員からの質問や意見は各校が集約して教育委員会に提出するようにしている。集約後に回答するよう考えている。
②案2について最初に検討したが、関係者ニーズを踏まえた施設規模を前提とすると、敷地が足りないことが分かった。そのため、敷地が比較的広く想定する施設規模が入る案1が適切と判断した。
③アンケートの目的として、これまでの方向性を踏まえた上でのアンケートとさせていただいた。また、アンケート内では4つの案について十分に違いを理解することが難しいと判断した。

- ・ 浮羽町域はこういった方向で進むとして、吉井町域についてはどうか？また、浮羽町域の児童・生徒が吉井町域に通うことはできるのか。
→今のところ吉井町域については小中学校の再編は考えておらず、区域外就学については、今後の検討課題としたい。
- ・ 義務教育学校となると、ほかの学校とカリキュラムのギャップができる可能性があるのではないか。ソフト面の検討についてどう考えるか。
→義務教育の学習として学習指導要領に沿った学習であるため、義務教育学校が他校と全く違うペースで授業をするわけではない。カリキュラムについては、学校の代表者を中心として、今後、適切なカリキュラムを一緒に考えていきたい。
- ・ 浮羽中学校はハザードマップでオレンジのゾーン（洪水浸水想定区域 0.5～3m）に属しているが、新設校舎を建設する場所として大丈夫か。浸水被害想定や小学生・中学生別の避難の仕方についても考慮しつつ、再配置を検討して欲しい。
→承知した。
- ・ 中学校敷地内に建設するのであれば、その期間の運動場の使い方はどうなるのか。
→学習環境を最優先に考えているため、運動場に新校舎を建てて、新校舎が建った時点で新校舎に移ることを想定している。そのため、新校舎建設期間においては、周辺の公共スポーツ施設の活用で代替するなどを想定しているため、少し不便をかけることになるとを考えている。
- ・ 今後のスケジュールについて、質疑や要望を取り纏めた最終的な説明の場を希望するが開催していただけるのか。
→検討させていただきたい。

以上